

第6分科会 第4会場

「共同組織の“わ”を強め、
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル2号館 6F プルメリア

演題番号 6-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	札幌西・手稲健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タカマツ イサオ 高松 功	札幌西・手稲健康友の会 事務局次長	第6分科会

発表テーマ
札幌西・手稲健康友の会ニュース「ていねやま」の紹介

内容（発言要旨）

1994年10月に「勤医協札幌西・手稲友の会」が設立され、友の会ニュース「ていねやま」が創刊されました。

「ていねやま」は月一回発行しており、友の会行事予定、班・サークル活動の紹介、西区・手稲区の民医連院所・事業所からのお知らせ、医療・介護制度の紹介、宅配者紹介など、友の会員への情報共有の一役を担っています。

現在、札幌西・手稲健康友の会には6つの専門部があり、友の会ニュース「ていねやま」を作成する「広報部」の紹介と、編集作業（初稿・入稿）の様子、「ていねやま」の紙面紹介、納品後の仕分け作業、配布の仕組みを紹介し、宅配・郵送の現状と課題を明らかにし、共同組織の機関紙活動のあり方を考察します。

（友の会現勢：11,233 友の会ニュース部数：宅配部数 3,868・郵送部数 3,344 宅配者数281）2024年3月末現在

所属している組織の概要	
担当地域：札幌市西区・手稲区、小樽市銭函地区 人口：（西区：218,000 手稲区：141,610 銭函：11,255） 友の会員数：（西区：6,097 手稲区：2,467 銭函：87）	
TEL 011-666-2877	メール nishiku-soshiki@kin-ikyoo.or.jp

演題番号 6-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	平和会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
スギモト ヨシコ 杉本 芳子	生駒支部 編集委員	第6分科会

発表テーマ
友の会会報を人と人のつながりを大切にした紙面づくりに！

内容（発言要旨）

コロナ禍で友の会活動が休止状態になり、2ヶ月毎に発行している会報が、会員と会員を繋ぐ唯一の大切な友の会活動になりました。これまでもたくさんの会員が登場する紙面づくりを心掛けて来ましたが「この時期こそ一層会員参加の紙面を重視しよう」と編集者で話し合ってきました。2022年の夏には100号記念号を発行。楽しい紙面になりました。

会報に寄せられた『趣味を楽しんでいる』『これを機に片付けや改装を始めた』など元気な報告記事に「会報が届くのを楽しみに」「元気が貰えた」と感想を伝えてくれる一方で『外出できず足腰が弱った』『話し相手がなくて、一日誰とも話さないことも』など深刻な会員の状況も伝えられ、2021年からハイキングを再開し、2022年からは医療ビル使用の制限がある中で、公共施設を活用してサークルや元気体操を再開。現在は医療ビルも使用でき、サークルも増え、「仲間になりましょう！」と会員が会報に投稿し、参加を呼びかけています。

所属している組織の概要	
奈良県生駒市の駅前クリニックを拠点に生駒市全域が対象。 サークル活動や友の会運営員会が主催の活動（元気教室や医療講演会など）を活発に開催していたが、コロナ禍により活動中止。2022年頃から徐々に活動を開始。	
TEL 0743-76-6352	メール soshiki@heiwakai.or.jp

演題番号 6-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岩手	盛岡医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ 佐藤 カツエ	理事	第6分科会

発表テーマ
みんな元気に プチ健康まつり

内容（発言要旨）

生協強化月間の地域ブロックの取り組みとして昨年度、初めて開催し120人の来場者で大いに盛り上がった「プチ健康まつり」について報告します。

コロナ禍で事業所での「健康まつり」が数年間開催することができずにいました。しかし強化月間中に医療生協を地域に知らせる企画を何かできないかブロック会議で話し合ったところ、地域の施設を借りて、規模は小さくても自分たちでできる「健康まつり」の開催にチャレンジしようと決めました。実行委員会を立ち上げ準備を進めました。

各支部に声をかけたところ、「フリーマーケットやりたい!」「班活動で作っている手作り品の販売をしたい!」という声が続々と上がりました。地域の団体にも声をかけ、出店協力してもらったことで地域と共催の取り組みとなり、医療生協の宣伝にもなりました。当日は体調不良を理由に組合員活動から遠ざかっていた組合員の参加もあり、久しぶりの再会を喜び合いました。

日頃の支部・班活動がつながり、準備した側もお客さんとして参加した側もみんなが元気になりました。地域にも組合員さんにも喜ばれる取り組みとなったと思います。反省会では満足した感想ばかりが聞かれ、ぜひ来年もやろうと締めくり、今年度も開催日を決め、準備を始めています。

所属している組織の概要	
岩姫ブロックは岩手県盛岡市の北部、また盛岡市北側に隣接する滝沢市、県北の岩手町、八幡平市にある5支部で構成されています。	
TEL 019-635-6253	メール s-suzuki@morioka-medi-coop.or.jp

演題番号 6-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
富山	富山医療生活協同組合 山室支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イシハラ アサコ 石原 朝子	理事	第6分科会

発表テーマ
多世代がゆるやかにつながる・えがお夏祭まつり開催

内容（発言要旨）

山室支部は在宅福祉総合センター「えがお」建設をきっかけに、23年前に結成した支部です。

以来、「えがお」の地域交流スペースを拠点に、班活動を中心とした健康づくりや支えあい活動を進めてきました。コロナ禍において、既存の班活動やさらに活動のわを広げる事に苦戦していましたが、2022年には新しい集いの場としてオレンジカフェ「よってかれえがお」の取り組みも始まり、組合員同士の交流の場となっています。

今年度はさらに「もっと地域に医療生協を知りたい」「いろいろな世代の人たちと交流したい」という想いから、事業所と一緒に地域住民にも参加を呼びかける祭りを計画しました。朝採れ野菜の販売や、子どもたちも楽しめるようなヨーヨーすくい、綿菓子などの縁日、小物作りのコーナーがあったりと、ただいま計画中です。

所属している組織の概要	
活動地域は富山県富山市山室校区（中学校区）。地域の世帯数は10687世帯で医療生協の組合員世帯は731世帯（加入率6.84%）です。	
TEL 076-441-8351	メール akagawa-y@toyama-hcoop.com

演題番号 6-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カキハラ チカコ 茅原 千賀子	泉川ブロック中大支部 支部長	第6分科会

発表テーマ
他団体との連携と計画的な支部企画の実践

内容（発言要旨）

- ・平和とくらしをまもる活動の一環として夏に4～5年前より“中萩9条の会”と一緒に平和の集いを行っています。コロナで何年か中断していましたが、2022年には映画「ひまわり」2023年度は「戦争体験を聴く会」を開催しました。夏休み期間中に実施していますので、今後は多世代にも呼びかけたいと思っています
- ・支部総会や運営委員会、青空健康チェックなどで、いろいろなご意見、ご希望を伺います。ご希望を参考に支部企画を計画、実行しました。結果、幅広い分野で開催できたこと。参加者が増えたこと。特に初めて（久しぶり）の参加者が増えました。ご意見が反映されるので、意見交歓が活発に交わされ出しました。
- ・計画的な支部企画の実戦ということでは行事当日に次回企画のお知らせを行いました。運営委員会では早めに日程・場所を抑えてお知らせしないとイケないので大変ですが、内容や準備についてじっくり話し合えます。また参加される方たちも早めにわかっているので、お友達を誘って来てくれたりもしました。2023年度はいろいろな活動を通して、笑顔が溢れました。ささえあい、つながりあえました。そして健康づくりの生協をアピールできたかと思います。

所属している組織の概要	
活動地域は、愛媛県新居浜市。活動地域の人口は約12万人。所属する共同組織の人数は約1458人。	
TEL 090-8600-1207	メール kawahara@ehime-med.org

演題番号 6-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	たじま医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハルキ ケイスケ 春木 圭介	本部職員	第6分科会

発表テーマ
組合員と職員の交流班会「料理研究会」

内容（発言要旨）

2023年2月に発足した班会、「料理研究会」は、たじま医療生協本部職員3人が中心となって活動しています。2カ月に1回、7～8人が参加して、地域のコミュニティセンターで調理実習を行っています。これまでにそば打ちをしたり、お菓子・餃子やカレーなどを作ったりしました。毎回お土産付きということもあってか、参加者には大変好評で、何度も参加される方もあります。

所属している組織の概要	
活動地域は兵庫県北部の但馬地域で、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町です。組合員は約4500人です。	
TEL 0796-24-7035	メール info@tajima-coop.com

演題番号 6-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ク ト セ 久戸瀬 圭典	健康まちづくりセンター 課長	第6分科会

発表テーマ
地域の団体と連携・協力に関する包括協定書を 結び商品の開発

内容（発言要旨）

2022年に岡山県立岡山東商業高校とおかやま信用金庫と地域の発展に寄与するべく連携と協力に関して協定を結びました。おかやま信用金庫様の「SDGsアワード」などに互いに参加していたこと、また、私どもの総合病院岡山協立病院に隣接する高校でもあったことから自然に「何か地域の為に・・・」とつながりが拡がりました。全く、異業種であることがかえって、発想の変化をもたらし、また、私たちの目標である地域とともに、ということも柔軟な対応に繋がりました。2023年度には、嚥下機能の低下した方でも安心して食べていただける「白桃水羊羹」を高校生のアイデアで共同開発しました。その経緯を紹介します。

演題番号 6-4-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会ふくしま	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ツ ボ イ ア キ ト 坪井 明人	会長	第6分科会

発表テーマ
医療生協解散から健康友の会へ

内容（発言要旨）

旧福島医療生活協同組合は、2023年10月に公益財団法人淀川勤労者厚生協会（以下淀協）に事業譲渡し、2024年3月末に解散しました。

2021年の通常総代会では、他法人との合同合併を見据えた決議に始まり、2年以上もの時間を費やし、淀協との法人合同を目指して協議をすすめてきました。

解散に至るまでの経緯と「健康友の会ふくしま」として健康づくりへの取り組み、今後の目標など、報告します。

所属している組織の概要	
岡山県南東備地区を中心に6万人の組合員さんの参加があり、46支部の活動をサポートしています。その中で、一般企業、学校と共同で取り組みをした事例を紹介します。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

所属している組織の概要	
大阪市福島区は大阪市内で最も小さな行政区ですが、高層ビル等、開発が進み新しい世帯の増加が目立ってきています。大都会と下町の両面のある地域で、富裕なファミリー層があっても、若年、高齢者単身世帯も多い地域で困難層も見受けられ、民医連医療の必要性を感じています。組織数は現在、約3000世帯。生協組合員から友の会へ振替活動中。	
TEL 06-6461-6822	メール soshiki-fukushima@yodokyo.or.jp

演題番号 6-4-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	千鳥橋病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツオ トシヒロ 松尾 俊宏	まちづくり企画室 課長	第6分科会

発表テーマ
まちづくり企画室 ～地域との関わり(初年度)～

内容(発言要旨)

2023年4月から「千鳥橋病院まちづくり企画室」ができました。一年間の特徴的な取り組みを報告します。まちづくり・共同組織委員会を10月度より定例開催し、職員が今まで以上に地域との関わりを増やすこと。また、共同組織との関わりを深めるために活動しています。

- 【小学校との関わり】
- ・夢を語るシリーズ①(7/14) 場所:千代小学校、対象:6年生
→講師:研修医(沈昶) ～沈、母校に帰る～ テーマ「夢」
 - ・夢を語るシリーズ②(1/25) 場所:東箱崎小学校、対象:6年生
→講師:研修医(平井拓夢)「拓夢が夢を語る」
 - ・夏休み宿題お助け塾(8/18) 場所:ちどりビル2階大会議室、対象:千代小学校 【職員と一緒にカレー作り!】
 - ・冬休み宿題お助け塾(12/26) 場所:調理実習室、カレー作りをメインに開催 【本場のカレー体験!】
 - ・「生命の誕生」産婦人科:大塚医師(2/29) 場所:東箱崎小学校、対象:5年生
 - 【病院近隣での取り組み(若い世代にアタック)】
 - ・親子で遊ぼう in 千代小学校(10月より毎月開催中)
→体育館を貸切、日曜日の午前中に子どもが自由に遊ぶ&子育て世代の交流を目的【定例:24年5月より第④日曜】
 - ・「子育て支援学習会」(3/2) 千代公民館との共催、対象:親(小・中学校)
 - ・「今日は何作ろう!」～親子でナン作り体験～(4/20) 【本場のナンを焼いちゃった!～秘伝のラッシー編～】
 - ・おまけ企画:「竹林で癒やされよう!～春はやっぱり、タケノコ掘りでしょ!～」

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県福岡市博多区近隣です。千鳥橋病院が中心となり、博多支部(会員3,148)、東区西支部(会員2,378)、中央支部(会員539)、城南支部(会員401)の4支部が活動しています(ふくおか健康友の会14支部[会員34,797])。千鳥橋病院の周辺には、小学校7校・中学校6校があり企画対象を若手に絞った取り組みを紹介します。	
TEL 092-651-1522	メール ts-matsuo@fid.jp

演題番号 6-4-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	西都保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウダガワ ノブコ 宇田川 展子	みその診療所事務・組織部(小平支部担当)	第6分科会

発表テーマ
地域との協働で誰ひとり取り残さないまちづくりを ～診療所職員と組織部員を兼任した活動の2年間を振り返る～

内容(発言要旨)

2022年4月より法人の組織編制の変更で組織部員が各地域の診療所医事課に配置された。私はそれまで診療所事務兼相談員だったが、加えて組織部員として診療所圏域の小平支部を担当することになった。月に8支部の運営委員会や地域に開かれた会などを通じ支部組合員と交流してきた。組合員との協働、診療所職員と組合員との橋渡し、多団体との連携、暮らしの保健室の常設化と手探りで進めてきた2年間の活動を振り返りたい。

地域に出て直接組合員や他団体とかわかることで信頼関係がつけられつつある。地域で困りごとを早期に相談されることが増えてきた。今後は、多様な人々ともゆるやかにつながれる窓口として「暮らしの保健室」に可能性を感じている。①気楽に話せる場から困りごとの早期発見・支援②医療生協ならではのイベント企画で地域へ貢献③保健室の常設会場である公民館利用の他団体との協働で若い担い手の発掘、組合員活動との協働へと結びつけたい。

所属している組織の概要	
西都保健生活協同組合は5市にまたぎ、17支部約13100名の組合員より成り立っている。小平支部は約3030名8支部、約60の班活動が行われている	
TEL 042-342-7270	メール misonososiki@gmail.com

演題番号 6-4-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	公益社団法人京都保健会・ NPO ほけんかい	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
堀岡 真人、 田中 秀行	組織社保部	第6分科会

発表テーマ
12健康友の会で共同利用する「No プログラム、 無料クラウド会員システム」を稼働して3年の 到達と課題

内容（発言要旨）

12友の会の成り立ちや活動内容はそれぞれで、規模も1万数千から百未満まであり、会員の管理・把握方法も各友の会任せだった。主な友の会はDBソフトを単独PCで、しかしソフトが廃盤だったり設定が属人化していたり、小さな友の会はエクセル名簿や手書き名簿だったりした。また、会費管理もバラバラで、友の会課題は集約・交流していたが、実務を含め組上にすると標準化すべき課題が噴出して。また京都保健会として会員掌握出来ず「地域協同基金」は申告で運用せざるを得なかった。

課題を克服するシステムのテーマは①共通した友の会会員管理システム、②オンライン・分散システム、③持続可能性の担保、④現行会員管理の継続と標準化、⑤廉価・限りなく無料とした。そして友の会実務担当者を孤立させず集団化、スキルアップをめざした。

具体的には関連NPO法人がサイボウズ社のNPO応援ライセンスを2021年2月に取得、同年9月からwebサービスkintoneを利用した会員システムを立ち上げ、2023年12月にはほぼ全ての会員管理が移行・完了した。

所属している組織の概要	
京都保健会は府内広域に3病院12診療所、他に介護事業・看護学校を含め39事業所を運営する公益社団法人です。全事業所は12健康友の会と協力・共同し「健康で住み続けられるまちづくり」に邁進し当面3千増の3万会員をめざしています。	
TEL 090-7341-9486	メール horioka@kyoto-hokenkai.or.jp